

森永乳業グループ 税務方針

森永乳業株式会社およびそのグループ各社（以下、森永乳業グループ）はその事業活動を展開する国・地域における税務法令を遵守し、適正な納税を行いつつ税務リスクの最小化と税務コストの最適化を図ることを目的として、本方針を制定します。

1. 税務法令の遵守及び税務コンプライアンス意識の維持・向上

森永乳業グループはその事業活動を展開する国・地域における税務法令およびOECDガイドライン等の国際的な取り決めを遵守するとともに、税務コンプライアンスに関する意識の維持・向上を図ります。

2. 税務リスクの最小化

森永乳業グループはその事業活動を展開する国・地域における税務法令の理解を深め、税制や税務行政の変更の際は適切に対応し税務リスクの最小化を目指します。また、税務上の解釈が不明確な取引を行う場合には必要に応じて専門家のアドバイスを受け、税務処理の妥当性や様々なリスクの大きさを評価し、適切な判断に努めます。

3. 適正な納税義務の履行と税務コストの最適化

森永乳業グループは適正な納税義務を果たすため、事業目的や実態を伴わない人為的な租税回避行為や過度な節税行為は行いません。一方で、正常な事業活動の範囲内で利用可能な優遇税制を適用して税務コストの最適化に努めます。

4. 移転価格

森永乳業グループは国外関連者との取引に関して、独立企業間価格を考慮し、各国間および各社間のそれぞれの機能や貢献に応じて適切な利益配分を図ります。

5. 税務当局との関係

森永乳業グループは各国の税務調査や徴収手続き等に協力し、建設的な対話を通じて、税務当局と健全かつ正常な関係を構築するように努めます。

制定：2021年9月